

# 慰霊の日に向けて！！

## 平和学習会・630宮森小ジェット機墜落の講話

# 学校便り

発行元  
宜野座中  
校長  
伊波寿光

悲しみに  
終わりはない



6月23日の慰霊の日に向けて中学3年生は本日の1時間目に「石川・宮森630会」事務局の伊波洋正さんを講師に迎え、「宮森小ジェット機墜落事故」についての講話を行いました。「何事も他人ごとではなく、自分ごととして考える」として考えよう。

「まずは知ること。それも具体的に知ること」ジェット機墜落の事故の悲しみを伝えながら、「生き方」「考え方」についても真剣に考える講話でした。

お礼の言葉  
3年  
大保響輝

「宮森小にジェット機が墜落した事件があった」という話を父から小学生の時に聞きました。そのときに「もし、自分の学校に墜落していたら」と考えたのを覚えています。その頃から「宮森ジェット機墜落事件」についてももっと詳しく知りたいたいと思っていて、今日、そのチャンスがもらえ

## かさを忘れずに 「生徒会より」



梅雨に入り、雨の日が続き、かさを持って来た人もいます。そこでお願いです。自分のかさを持ってきて自分のかさを使用しましょう。中には持ってきたかさがなくなって困っている人もいます。

これまで他の人のかさを借りて返していない人がいればどうか返してください。もし、かさを忘れた場合は学校で数本ならかさの貸出をしています。忘れた人は先生に言って学校の貸出しかさを使ってください。また、雨に濡れて登校する生徒が多いように感じました。体調管理の面からも濡れない工夫をしましょう。ご協力をよろしくお願ひします。We can do it. 沖縄1の学校を目指していきましょう。  
生徒会副会長 平田大空

て良かったです。今日の講話を聞いて、宮森小だけでなく、周りの地域にも大きな被害があったことがわかりました。我が子を失った親。そして友達を失った児童。亡くなった人たちのことを考えると胸に「ぐっ」ときましました。「今、自分が不自

由なく生きられている」のは当たり前じゃないと心の底から改めて思いました。今後平和な社会を作るために自ら沖縄の歴史や現在も問題となっている基地について深く学び、自分のできることを進んで取り組んでいきたいです。

「今って、平和ですか？」  
「もし、万が一ジェット機が学校に墜落したら？」



「学校便りは、宜野座中学校ホームページでも閲覧できます」  
パソコン・スマートフォンで宜野座中学校ホームページへ。